

Topic of town

まちの話題



雄勝

旬のウニ、ホヤ求め4千人 海鮮まつりにぎわう



地元でとれる旬の水産物を主役にした「おがっつ海鮮まつり夏」が6月22日、道の駅硯上の里おがっつで開かれました。目玉は例年より身入りの良い殻付き活ウニの販売で、千箱分の整理券を求めて朝から長蛇の列ができました。宮城県のご当地アイドルグループ「みちのく仙台ORI☆姫隊」とウニをかけて楽しむじゃんけん大会や、殻付きホヤの詰め放題販売もあり、昨年よりも千人多い約4千人の客でにぎわいました。



桃生

命守る備え 親子で万全に

防災士が知識を伝授

桃生子育て支援センターは6月17日、防災を学ぶ子育てセミナーを開きました。市内の防災士が講師となり、「(火災の際は)煙の吸い込みに気を付けて」、「(大雨のときは)長靴よりもスニーカーで避難を。傘はつえの代わりになりますよ」など、災害別に望ましい行動を伝えました。子どもたちも楽しく参加できるカードや絵本を使ったコーナーもあり、参加した親子5組が命を守るための備えを学びました。



石巻

世界に一つだけの手作り絵本

図書館で恒例企画

市図書館で7月6日、手作り絵本教室が開かれました。四半世紀続く恒例企画で、今年も市内在住の絵本づくり講師の今野薫さんが7組13人に指導しました。作ったのは絵を描くだけでなく、折り紙を活用して彩りや遠近感を表現したり、飛び出す仕掛けを仕込んだりして工夫した絵本です。秋頃の展示を予定し、7月12日と合わせた2日間で世界に一つだけの絵本を完成させました。



河北

山形県河北町との交流

さくらんぼ狩りツアー

毎年の恒例行事の一つ、山形県河北町との交流事業「さくらんぼ狩りツアー」を6月14日に開催しました。今年は84人が参加し、山形県河北町のさくらんぼ農園で佐藤錦や紅秀峰などを味わいました。昼食はそばがついたボリュームたっぷりの弁当を味わい、その後は温泉でゆっくり身体を癒したり、特産品のお土産を買うなど、山形県河北町の魅力たっぷりの1日を過ごしました。



河南

地域に花咲く文化まつり

新市20周年記念銘打ち

新石巻市誕生20周年記念と銘打った第17回かなん文化まつりが7月6日、遊楽館で開かれました。舞台部門は琴演奏を皮切りに合唱や舞踊、華やかなベリーダンスなど40近い演目が披露され、文化の花を咲かせる市民に客席から盛大な拍手が贈られました。展示部門では書、着物リメイク、手作りお地蔵さん、陶芸、トンボ玉などの作品があり、多くの人が興味不深そうに見入っていました。



北上

磯のいきもの観察会

自然とふれあい楽しく学ぶ

環境市民講座の一環として、「磯観察&ビーチクリーン」が6月14日、北上町十三浜の大室漁港を会場に開催されました。市内から23人が参加し、磯で採取された、カニ、ヤドカリ、ヒトデ、アメフラシなどの特徴や習性について学びました。講師を務めた石巻・川のビジターセンター佐藤満利氏は、「今後も自然とのふれあいを目的とする講座を企画し、1人でも多くの市民に環境について考える機会を提供していきたい」と語りました。



牡鹿

ホエールタウンおしか

公共建築賞・優秀賞受賞

6月11日に牡鹿地域拠点エリア「ホエールタウンおしか」が、第19回公共建築賞・優秀賞を受賞しました。この賞は、一般社団法人公共建築協会などが隔年で実施するもので、今回は全国から114点の応募があり、その内33点が「優秀賞」、8点が「地域特別賞」に選ばれました。受賞した経緯は、捕鯨最盛期の水産加工場の切妻屋根をデザインに取り入れ、過去と現在をつなぐ風景が創出されたこと、観光物産交流施設「cottu」、牡鹿半島ビジターセンター、おしかホエールランドの3つの施設を一体化させたことにより、「食」「体験」「展示」と人々の活動をつなげ、地域の拠点として機能していることが評価されました。今後は、更に上位の国土交通大臣表彰の選考が11月に予定されています。

